
岡山大学の理念・目的・目標

1. 岡山大学の理念

“高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に発展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかなければなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成（研究）と知の継承（教育と社会貢献）を通じて人類社会の発展に貢献します。

2. 岡山大学の目的

“人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保険、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目標とします。

このため、わが国有数の総合大学の特色を生かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基礎にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3. 岡山大学の目標（抜粋）

（1）教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

（2）研究の基本的目標

岡山大学におけるあらゆる活動の源泉は、先進的かつ高度な研究の推進にあります。

常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし、国際的に上位の研究機関となるよう指向します。

経済学部 of 教育理念・教育目的・養成する人材像・DP

1. 教育理念

岡山大学経済学部は、経済学・経営学・会計学に関する専門教育、および幅広い知的関心と豊かな人間性を慈養する教養教育を通して、社会に存在する諸原理への理解力と社会で活躍するための実践力を備えた人材を養成し、本学の理念である「高度な知の創成と的確な知の継承」に貢献します。その実現に向けて、以下のような養成する人材像を設定し、教育に取り組みます。

2. 教育目的

経済学・経営学・会計学に関する専門的な学術知識を教授するとともに自ら研究することを促し、現在および将来の社会的要請に応えうる人材を育成することを目的とする。

3. 養成する人材像

- (1) 冷静かつ柔軟な思考を修養し、社会が直面する多様な課題に積極的・意欲的に取り組むことができる人材。
- (2) 経済学・経営学・会計学の専門知識と諸現象・事象の分析手法を修得し、それらを的確に実践することによって、国内外の企業、官公庁、NPO・NGO等の組織で活躍できる人材。
- (3) 高度な外国語能力とコミュニケーション能力を有し、グローバル社会で活躍できる人材。
- (4) 高度専門職業人（公認会計士、税理士、ファイナンシャル・プランナー等）、高等学校教員（商業科担当）、研究者を目指して大学院に進学する人材。

4. 経済学部ディグリー・ポリシー（DP）

ディグリー・ポリシーとは、教育の基本的目標を、学生が大学を卒業するときの到達水準として示した学位授与の方針のことです。

【教養1】

人間性に富む幅広い教養

持続可能な開発目標（SDGs）が標榜する多様性と包摂性のある社会実現のために、一人の社会人として、人間と社会、自然と生命に関する諸課題に対して、主体的に関わっていくことができる豊かな人間性に富む幅広い教養を身につけている。

【教養2】

専門性を支える深い教養

経済・経営・会計の専門性を活かすために必要な、人間や社会に対する関心と理想を有し、論理的な思考と大局的な判断ができる深い教養を身につけている。

【専門性】

経済・経営に関する専門的な分析力と応用力

経済・経営・会計の専門知識に基づいて、社会が直面する多様な課題を発見・分析し、解決するための的確な応用力を身につけている。

【情報力】

情報を収集し効果的に活用できる能力

必要とされる情報を収集・選択・分析し、その成果を適切かつ効果的に活用・発信する能力を身につけている。

【行動力】

時代と社会をリードする行動力

グローバル化と共生の時代にふさわしい国際感覚と言語・コミュニケーション能力を修得し、地域や国際社会、諸組織をはじめ、多様な人間・社会関係においてもそこに関与する人々を積極的にリードする行動力を身につけている。

【自己実現力】

自己実現に向けて専門的知識を生かし目標を追求する力

将来にわたって主体的・持続的に学ぶ姿勢を維持し、修得した専門的知識を生かして自己の目標実現に向けて歩み続けることができる能力を身につけている。